



世界チンパンジーの日

野生および飼育されているチンパンジーの暮らしを支え、守る人々を応援するため、またより多くの人々を魅了するため、さまざまな組織が協力し、2018年から7月14日を世界チンパンジーの日と制定しました。

1960年7月14日はジェーン・グドール博士が野生チンパンジーの研究のため現在ではゴンベ溪流国立公園となっている地へ初めて足を踏み入れた日です。グドール博士はチンパンジーという類い稀な動物に人々の関心を集め、今日までの約60年間に渡り彼らの素晴らしさを広く伝えてきました。

世界チンパンジーの日は、ヒトに一番近い、いわゆる従兄弟のような存在であるチンパンジーに敬意を表し、チンパンジーを祝う日です。また、多くの人に、彼らの暮らしを守るために、世界規模での協力が必要であることを知ってもらい、考えてもらう日でもあります。

世界チンパンジーの日の目標:

- ・動物界におけるヒトの従兄弟のような存在であるチンパンジーを大切にしよう
- ・人々に野生のチンパンジーが直面している様々な危機、例えば生息地の消失、伝染病の蔓延、野生動物の違法取引などについて知ってもらう
- ・飼育下における彼らの適切な生活を広める

世界チンパンジーの日設立組織の願いはチンパンジーの未来が希望の持てるものとなるように、さまざまな活動が国や地域を越え広がっていくことであり、その活動の動力となる団体を支えることです。

“チンパンジーのことを知れば知るほど、私は彼らが如何に私たちに似ているかを実感しました。…つまり、私たちは動物界の一員であり、離れた存在ではないことを実感したのです。”

ジェーン・グドール博士

ジェーン・グドール研究所代表
国連平和大使





チンパンジーを深く知ろう！

チンパンジー研究のパイオニア的存在であるジェーン・グドール博士と博士の後継者である研究者たちのおかげで、チンパンジーとヒトには共通する色々な行動があることが分かっています。代表的なものとしては、道具を作り、使うことができること、コミュニケーション能力を持つこと、仲間のために自分を危険にさらすような行動を取るなどです。彼らを知れば、この複雑で頭の良い生き物を私たちが守っていくことの大切さに気づくはずですよ。

チンパンジーを守ろう！

チンパンジーは絶滅の危機に瀕していません。100年前までは推定で100～200万頭のチンパンジーがアフリカ大陸25カ国にまたがり生息していたと言われています。現在では生息数がアフリカ大陸全体で35万頭まで減っています。この減少を食い止めるため、私たちにできることに真剣に取り組む、野生のチンパンジーが安心して暮らせるよう努力していきましょう。

チンパンジーの適切な飼育のために

現在チンパンジーは研究やエンターテインメントを目的とする施設をはじめ、様々な状況下で飼育されています。中には違法なペットとしての飼育や、無認可の移動動物園で飼育されているチンパンジーもいます。そのような状況下のチンパンジーは往々にして生きていく上で最低限必要な身体的、精神的、そして社会的ニーズを奪われ、暮らしています。これに対し、私たちは教育に力を入れ、彼らに当然あるべき福祉を向上させるべく法の整備を進めていきます。

参加しよう！

世界チンパンジーの日

2020年7月14日

詳しい情報はこちらのHPまで

worldchimpanzeeday.org
#WORLDCHIMPANZEEDAY

世界チンパンジーの日をみんなで祝おう！年に一度のこのイベントではチンパンジーという様々な魅力を持つ動物を知り、敬意を表し、野生のチンパンジーを絶滅から守る取り組みや世界中で飼育されているチンパンジーが幸せに暮らせる取り組みを広めるきっかけを作ります。

参加しよう：

- ・世界チンパンジーの日をソーシャルメディアで広めよう。
シェアする時は#WorldChimpanzeeDayを忘れずに。
- ・チンパンジーについて知る機会を設けよう。
- ・携帯電話のリサイクルや持続可能な開発を考慮しない製造過程で作られたパーム油を使った製品の購入を控えるなど、日々の暮らしの中でチンパンジーを守るちょっとした努力の輪を広げよう。

さあ始めよう！質問は？

World Chimpanzee Day NGO へ email で、または Facebook ページ (facebook.com/worldchimpanzeeday) をご覧ください。